

## 令和5年度 第1回苫小牧市防犯のまちづくり懇話会 事前アンケート（質問・意見・要望事項）について

### 1 学校の開錠について

学校内への不審者立ち入り防止策として、インターホン確認がされていますが、学校によっては朝の玄関が開く時間が遅く、仕事をしている親の子供は長時間玄関前で待つことになっている。その際に先生や保護者が一緒にいないので、その間に何かあったらと思うと心配です。

### 回 答

各学校では、児童生徒が登校してから下校するまで、玄関の施錠を行ったり防犯カメラで確認を行ったり刺股を常備したりするなど、不審者の侵入に対する対応を図っております。

現状としては、子どもたちの安全を確保するために、通学時間帯の範囲を広くとらないようにしている学校が多くございますが、児童生徒が決められた時間に登校することや、児童生徒の見守り体制について、引き続き学校、保護者、地域で連携して取り組めるように周知を図ってまいります。

## 2 窃盗防止の意識喚起について

コロナ情勢により犯罪全体が減少傾向にありましたが、今後は増加していくことが予想されます。なかでも大半を占めている窃盗についてですが、防犯として未然に防ぐ活動を行ううえで窃盗が行える環境が存在していることも理解を深め防いでいく必要があるかと考えます。例えば、万引きや自転車の窃盗などの現場に遭遇したとしても、直接注意をすること以外の対応を取れる市民が何人いるのでしょうか。

昨今、市内でもポツンと家が建っている場所の方が少ないにも関わらず、空き巣や車上荒らしが起きているのは、近隣の市民にも関心が無いことの表れに感じます。

窃盗防止の意識喚起と共に防犯の観点からも、ガイドブックに記載されている「のぼり」や「看板」を簡易にしたようなステッカーを配布し、苫小牧市全体で窃盗を見逃さない運動に取り組んでいるよう周知していくというのはどうでしょうか。

お金が必要になる動きとなりますので、あくまで案です。

## 回 答

本市の犯罪認知件数は、本年7月末で465件と前年より37件増加しており、今後の動向に注意が必要な状況です。犯罪を未然に防ぐには、委員ご指摘のとおり窃盗をはじめ犯罪が行えない環境を作っていくことも重要な視点です。

防犯のぼり旗と看板は、令和2年度第1回の本懇話会で委員より提案された「目」をデザインしたものに變更しております。「目」は威嚇効果に優れており、窃盗や子どもへの犯罪を意図する者に対して抑止効果があるとされております。なお、設置については、町内会等に危険個所など地域の実情に応じて選定していただいております。

ご提案のステッカーについては、のぼりや看板に比べ設置場所の制限が少なく周知の効果も考えられますが、防犯のぼり旗は市内全域を網羅するまでには至っていないことから、まずは、未設置の町内会等に利用をお願いしてまいりたいと考えております。